

2021年8月23日

教職員・学生 各位

学長 寺嶋 一彦

**【注意喚起】新型コロナウイルス感染症拡大・感染防止に関する対策の徹底と
【協力依頼】ワクチン接種について**

1. 新型コロナウイルス感染症拡大・感染防止に関する対策の徹底

全国の新型コロナウイルス新規感染者数は、これまでにない急速なスピードで増加しており、過去最大の水準の更新が続いている状況です。これは、感染力が強いとされるデルタ株に置き換わりが進んでいるためと考えられ、8月20日時点で、愛知県知事が政府に対し緊急事態宣言を要請しているところです。

愛知県、東海地方、豊橋市も同様に新規感染者数は急増し、8月22日（日）の豊橋市の新型コロナウイルス新規感染者数は、過去最多の92人が確認され、感染者数の増加はこれまでにない深刻な状況となっています。

<https://www.city.toyohashi.lg.jp/41805.htm>

【最近の感染者の特徴】

- ・ 感染経路不明が半数以上
- ・ 活動が活発な40歳代以下の感染者が90%
- ・ 家族や知人との会食やバーベキュー、感染拡大地域への旅行
- ・ 緊急事態宣言、まん延防止等重点措置地域からの帰省や、これらの地域への帰省

学内においては、8月17日以降、8月21日現在で、7名の感染者を確認しています。行動履歴等から、今のところクラスターに発生とする要因は少ないと判断しているものの、豊橋市の感染状況や、今後、帰省先から豊橋にもどってくるが多くなることも踏まえ、8月25日から「本学の新型コロナウイルス感染拡大防止のための活動基準」を引き上げます。（レベル2→レベル3）

学生・教職員の皆さんにおいては、マスク着用や手洗い・手指消毒の徹底など、各自でできる感染予防対策を引き続き実施するとともに、「3密（密閉、密集、密接）」はもとより、1密でも回避すること、不要不急の移動を自粛すること、外出を通常の5割に削減することなど、感染リスクを低減させる行動に努めてください。

特にマスク未着用の際に、感染が多く発生している状況がありますので、常日頃からマスクの着用を徹底してください。

万一、新型コロナウイルス感染症の感染が判明した場合、PCR検査等を受けることが決まった場合、保健所から濃厚接触者に指定された場合又は家族・友人等が感染し、一緒に過ごしていたなどで濃厚接触者に当たると思われる場合などは、直ちに、「（学生・教職員）発症時における対応・大学への連絡フロー」に従い、健康支援センター等への連絡をお願いします。

なお、ワクチン接種後の副反応などの症状に不安を感じた場合の連絡についても追加しましたので、確認願います。

<https://www.tut.ac.jp/docs/210823renraku.pdf>

健康支援センター 0532-44-6632 kenkou@office.tut.ac.jp

2. 新型コロナワクチン接種について

キャンパスでの感染拡大を防ぐためにはできるだけ多くの皆さんにワクチン接種をしていただく必要があります。

大学では、9月～10月にかけてワクチン接種を行うことになり、別途、接種希望のアンケートを引き続き行っているところですが、まだ、予定数に達していない状況です。このワクチン接種は、多くの関係者が力を尽くして実現したものです。

後期の授業に向けて、大学で行うワクチン接種、自治体等が行う集団ワクチン接種、個別のかかりつけ医で行うワクチン接種の機会があります。この大切な機会に一人でも多くの方がワクチン接種を済ませるよう、ご協力をお願いします。

ただし、接種を受けることは強制ではありません。また、既往症等のため受けられない方もいらっしゃいます。予防接種による感染症予防の効果と副反応のリスクの双方についてご理解していただいた上で、ご協力願います。

ワクチンに対する正しい知識

本学で実施するワクチン接種は、武田／モデルナ社の新型コロナワクチンで、有効性や安全性等については、厚生労働省のHPに記載があります。概略は以下のとおり。

<有効性>

ワクチン接種により、新型コロナウイルス感染症を発症した人が少ないということが分かっており、発症予防効果は約94%と報告されています。

なお、臨床試験において、本ワクチンの接種で十分な免疫が確認されるのは、2回目の接種を受けてから14日以降です。また、ワクチン接種により完全に予防できる訳ではないので、引き続き感染対策は必要です。

<安全性>

主な副反応は、注射した部分の痛み、頭痛、関節や筋肉の痛み、疲労、寒気、発熱等があります。接種直後よりも接種翌日に痛みを感じる方が多く、接種後1週間程度経ってから、痛みや腫れなどが起きることもあります。

まれに起こる重大な副反応として、ショックやアナフィラキシーがあります。

また、副反応は1回目より2回目の接種の後に、症状が出やすくなります。

発熱や痛みなどの症状が出た場合は、市販の解熱鎮痛薬により対応できますが、激しい痛みや高熱など症状が重い場合や長く続く場合は、医師に相談してください。

※ワクチンに対する正しい知識、新型コロナワクチンQ&A、ワクチンの安全性と副反応、武田／モデルナ社ワクチンについての詳細はこちらをご覧ください。

<https://www.kantei.go.jp/jp/headline/kansensho/vaccine.html>

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/vaccine_yuukousei_anzensei.html

<https://www.cov19-vaccine.mhlw.go.jp/qa/>

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/vaccine_moderna.html

いまこそ豊橋技術科学大学の全ての学生と教職員が力を合わせ、この危機を共に乗り越えましょう。

(感染防止参考)

○愛知県まん延防止等重点措置抜粋（8/8～9/12適用）

1. 不要不急の行動の自粛

- ・感染力の強いデルタ株などの変異株を嚴重に警戒し、人の移動と、人と人との接触機会の抑制を図るため、生活に必要な場合を除き、日中も含め、外出の自粛
- ・特に、人出の半減を目指して、混雑した場所等への外出の自粛
- ・路上・公園等における集団での飲酒など感染リスクが高い行動について自粛

2. 県をまたぐ不要不急の移動自粛

- ・変異株による感染が増加していることを踏まえ、他の地域への感染拡大を防止する観点から、県をまたぐ不要不急の移動は、極力控える
- ・特に緊急事態措置やまん延防止等重点措置が適用いる都道府県への不要不急の移動は自粛

4. 基本的な感染防止対策の徹底

- ・「感染しない、感染させない」を徹底
- ・飲食を伴う会合、大人数・長時間での会合は回避。少人数・短時間でも「大声で騒ぐこと」は、飛まつ感染につながるため、絶対にやめる
- ・どうしても会食・飲食する際は、同居家族以外は「いつも近くにいる4人まで」、飲食する時だけマスクを外し、会話の際にはマスクを着ける「マスク会食」を徹底
- ・ガイドラインを遵守した「ニューあいちスタンダード認証店（以下「あいスタ認証店」という。）や「安全・安心宣言施設」のステッカー掲載店で、換気が良く、座席間隔も十分で、アクリル板も設置され、混雑していない店を利用
- ・ワクチン接種を終えた方も含めて、日頃から、三密が発生する場所を徹底して避け、必要な外出は短時間とし、別図2「感染リスクが高まる5つの場面」では、マスクの着用、手指消毒等、基本的な感染防止対策の徹底
- ・タクシーやバス・電車等の公共交通機関では、常にマスクを着用し、大声での会話は控える
- ・適切な温度・湿度等を保ちつつ、十分な換気を行ってください
- ・接触確認アプリCOCOAを、オール愛知で活用し、検査の受診など保健所の早期サポートにつなげてください

8. テレワークの推進等

- ・事業者は、接触機会の低減に向け、休暇取得の促進やテレワーク・ローテーション勤務の推進をお願いします
- ・時差出勤、テレビ会議の活用、感染リスクが高まる「5つの場面」を避けるなど、通勤・在勤時の三密を防ぐ取組の徹底をお願いします

9. 職場クラスターを防ぐ感染防止対策

- ・職場・寮での手指消毒、マスク着用、職員同士の距離確保、換気の励行、複数人が触る箇所の消毒、発熱等の症状が見られる従業員の出勤自粛、テレビ会議の活用、感染リスクが高まる「5つの場面」を避ける行動などの感染防止対策を徹底してください
- ・特に、休憩室、更衣室等、職場での「居場所の切り替わり」に注意するよう周知してください
- ・基本的な感染防止対策の徹底や、歓送迎会を始めとする会食・飲食の自粛を呼び掛けていただくようお願いします

「新しい生活様式の実践例」 抜粋

●一人ひとりの基本的感染対策

<感染防止の3つの基本>

①身体的距離の確保, ②マスクの着用, ③手洗い

<移動に関する感染対策>

①流行地域への移動は控える。②帰省, 旅行等は控えめ, ③地域の感染状況に注意 ④移動記録の作成等

●日常生活を営む上での基本的生活様式

①まめに手洗い, 咳エチケットの徹底, こまめに喚起

②身体的距離の確保, 3密(密集, 密接, 密閉)の回避

③毎朝, 体温測定, 健康チェック 等

●日常生活の各場面別での生活様式

<公共交通機関の利用>

①会話は控えめ, ②混んでいる時間帯は避ける等

<食事>

①対面ではなく横並びで座る, ②おしゃべりは控えめ 等

<娯楽, スポーツ>

①狭い部屋での長居は無用, ②歌や応援は十分な距離をとる 等

<買い物>

①1人または少人数ですいた時間に, ②レジに並ぶときには前後のスペースを確保 等

* [厚生労働省「新しい生活様式」の実践例参照](#)

●新型コロナ接触確認アプリ等について

飲食店等における会食などの場でクラスターが多く発生していることから, 厚生労働省において開発された「新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCoA)のダウンロードや豊橋市新型コロナ通知システムをはじめとした地方自治体独自の通知システムの登録を推奨します。

【COCoA】 https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/cocoa_00138.html

【豊橋市新型コロナ通知システム】 <https://www.toyoalert.jp/>